

2023 年度 第 3 回 環境共生部会 レジメ

日時：2023 年 8 月 1 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務局（zoom 併用）

【議 題】

1. 簡易 AEMS 事業に関するアンケート（案）について

2. OBP Blooming Place 植花活動について
 - ① まちなかウォークアブル推進事業制度（国庫補助金）の活用について

3. ワーカー交流事業の企画案について

4. その他
 - ① OBP Blooming Place（寝屋川沿い）の注意看板の設置について（報告）
 - ② その他

以上

次回 第 4 回 環境共生部会開催予定

日時：2023 年 9 月 5 日（火） 15：00～16：30

場所：OBP 協議会事務局（zoom 併用）

第3回 環境共生部会

【資料】

日時：2023年8月1日（火）15:00～16:30

場所：OBP事務局＋オンライン（Zoom）

簡易 AEMS 事業に関するアンケート（案）

アンケートの目的：

2011 年度の環境省サステナブル都市再開発促進モデル事業において、各ビルのアンケート調査に基づいて整理した 2010 年度の現況エネルギー使用量をベースとした 2015 年、2020 年、2030 年のロードマップ（目標）を作成しております。これらの取組を踏まえて、2019 年度より 5 か年、簡易 AEMS 事業ということでこれまで皆様のご協力のもと OBP 協議会の環境共生活動の大事な柱として実施してまいりました。

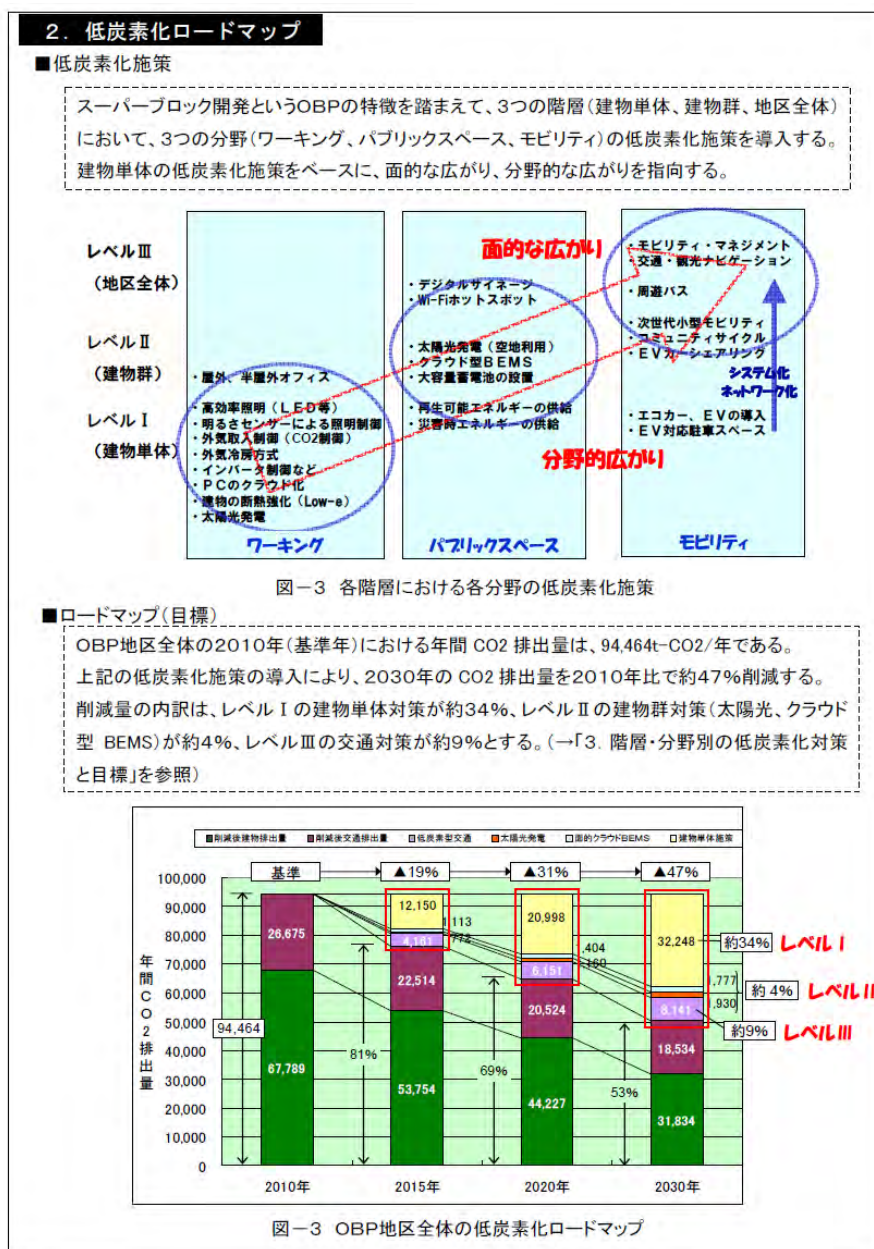


図 平成 23 年度環境省事業における OBP 地区全体のロードマップ

2023 年度は簡易 AEMS 事業の最終年度ということで、来年度以降継続するかを含めたシステム活用について議論を行っており、協議会メンバーのご意見を賜りたくアンケートを実施するものです。

簡易 AEMS の継続にあたっては、本アンケートを踏まえたシステムの改良を予算内に実行するとともに、来年度からは月数万円程度のサーバー使用料で継続できる見込みとなっています。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

□基本的な質問項目

Q1-1 企業名

Q1-2 運営委員名（アンケート回答者）

Q1-3 所有しているビル名（複数の場合もあり）

□簡易 AEMS の社内での活用について

Q2-1 簡易 AEMS を使って社内で活用していますか？

1.はい

2.いいえ

Q2-2 （1.はいと答えられた方）どのような形で活用されていますか？（自由回答）

Q2-3 （2.いいえと答えられた方）活用されていない理由について教えてください（自由回答）

□簡易 AEMS の意義について

Q3-1 簡易 AEMS は、昨今求められている環境共生へのエリアとしての活動として価値があると思いますか？

1.はい

2.いいえ

Q3-2 どのような価値があると思いますか？以下の中から選択してください。

1.OBP における自社の取組の位置づけがわかる（削減量等の順位がでる）

2.OBP 協議会の報告時に会社に対して環境共生活動として意義を説明できる

3.OBP 協議会として、エリア全体の環境共生の取組として対外的な発表をすることができ、環境に配慮したエリアであることをアピールできる

4.その他

Q3-3 (4.その他と答えられた方) 具体的に記載をお願いします。

Q3-4 (2.いいえと答えられた方) なぜ価値がないと思いますか? (自由回答)

☐簡易 AEMS のシステム上の課題について

Q4-1 現状簡易 AEMS に考えておられるシステム上の課題を以下の中からいくつでも選択ください。(複数選択可能)

- 1.入力に時間がかかり手間である
- 2.各社の入力まちまちであり、まち全体の入力をなかなか見ることができない
- 3.システム自体のアウトプットが欲しいデータではない
- 4.その他

Q4-2 (4.その他と答えられた方) 自由回答してください。

Q4-3 その他システムとしてこうなったら良いなと思うことがあれば教えてください。(自由回答)

☐簡易 AEMS の継続について

Q5-1 継続についてのご意見をお伝えください。

- 1.継続には賛成
- 2.継続には条件付きに賛成
- 3 継続に反対

Q5-2 (2.条件付き賛成と答えられた方) どういう条件があればよいと思っておられますか? 自由回答してください。

Q5-3 (3.反対と答えられた方) 反対する理由について自由回答してください。

以上

OBP Blooming Place 2023年度
セントラルストリートをペレニアルストリートへ

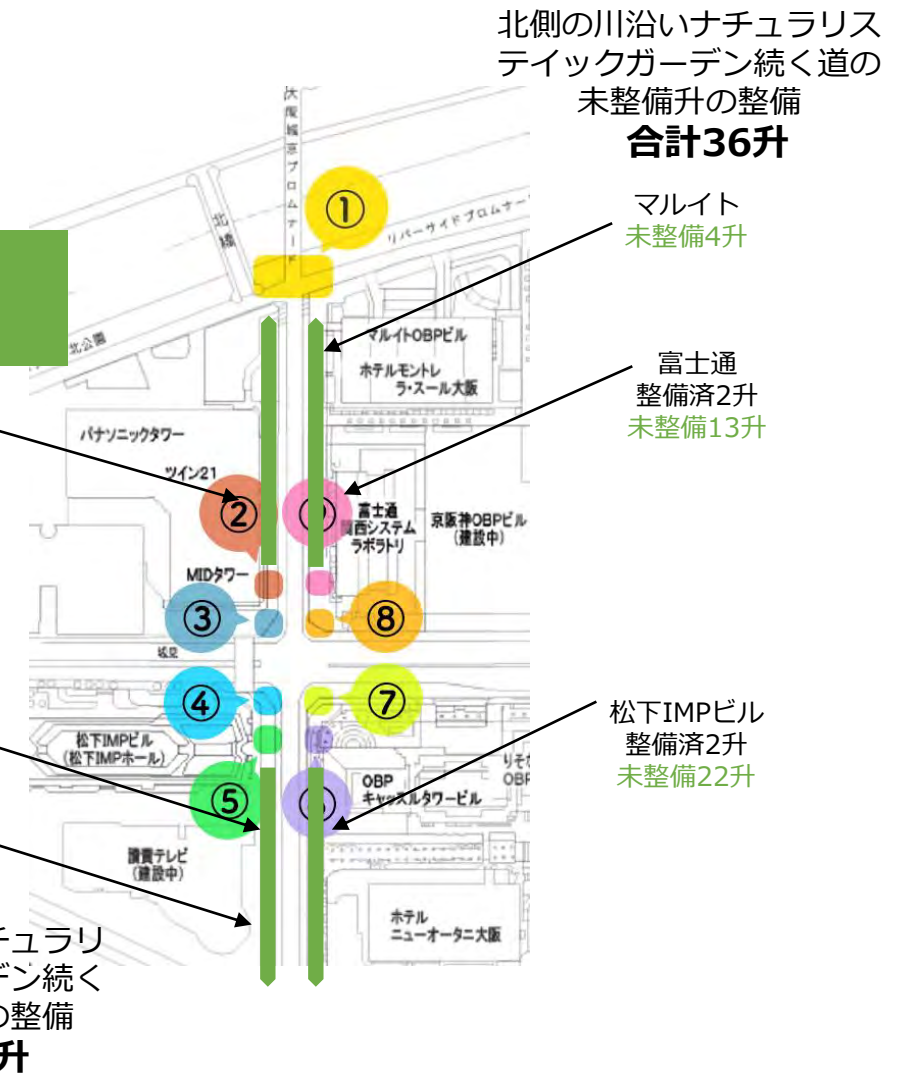
2023.7.31

現状

- ・一年草による一般的な植花活動と一線を画した宿根草による環境作りや景観作りにまで踏み込んだ植栽の認知が関係者間に浸透した。
- ・櫟の根元4種類の異なるデザインで一年草と宿根草の違いを認知いただいた。
- ・川沿いのナチュラルスティックガーデンと櫟の根元の花壇が点在している。
- ・徐々にプロの間で認知され他府県からの視察されるようになった。

こうする

- ・櫟の根元全てと川沿いのナチュラルスティックガーデンを合わせて全体として連続性のあるデザインとコンセプトの統一された場所にする
- ・全国でも珍しい宿根草花壇を継続することで社会的資産とする。



OBP Blooming Place は全国でも宿根草植栽地として規模は大きくないものの、ビル群に存在する新たな公共地の植栽の可能性を発信する貴重な存在となりつつある。

全国各地で観光庭園ではなく公共地への宿根草植栽導入の機運が高まっている。

しかし

宿根草植栽の中でもナチュラルスティック植栽を扱える熟練した専門家であるガーデナーが少ない。

そこで

宿根草植栽の活用を検討している人たちが全国から視察に訪れる場所となりつつある。



**ペレニアルといえば『OPB Blooming Place』
連続性のあるダイナミックなペレニアルストリートが新たな植栽の概念を発信する中心地となる**

全国にある公共地の宿根草の植栽地の例

管理がうまくいっていないところとそうでないところが存在する。

2020年開始



熊本サクラマチ花壇



東京 青山通り



東京 臨海広域防災公園



東京 有明 花の広場

2021年開始



OBP Blooming Place



御堂筋平野町街園

2022年開始



御堂筋本町街園



東京 代々木公園 ^{7ペー}パークガーデンアワード



神戸 三宮 東遊園地 京町筋

まちなかウォーカブル推進事業（国庫補助）を活用した OBP Blooming Place ペレニアル（宿根草）ストリート創出事業の予算シミュレーション（案）

								(金額の単位：万円)
	①	②	③	④	⑤	⑥		
	イニシャル1	イニシャル2	ランニング1	ランニング2	合計	補助金額	OBP協議会負担額	備考
	再整備36升	再整備41升	月額8万円 /36升	月額10万円 /41升	(交付対象事業 費)	⑤×1/2		
現状（2023年度）								2023年度維持管理経費 176（寝屋川沿い25㎡、城見1丁 目交差点樺根元8升）
国庫補助期間 （5年間予定） 1年目（2024年度）	200	0	40	0	240	120	120 + 176 = 296	
2年目（2025年 度）	0	220	96	50	366	183	183 + 176 = 359	
3年目（2026年 度）	0	0	96	120	216	108	108 + 176 = 284	
4年目（2027年 度）	0	0	96	120	216	108	108 + 176 = 284	
5年目（2028年 度）	0	0	96	120	216	108	108 + 176 = 284	補助金交付期間の最終年度
6年目以降 （国庫補助期間終 了後（2029年度） 以降）	0	0	96	120	0	0	216 + 176 = 392	樺根元の1年草を宿根草に変 更（植替経費を削減すると 2023年度維持管理費176万円 から20万円～30万円削減可 能）

※ 補助金額はイメージで協議により変わる可能性があります。

OBP協議会 御中

ワーカー交流事業 企画書
2023年度

2023.8.1
株式会社まなれば
Ver.1

【2022年度】

昨年の第1回ワーカー交流事業では、2021年からOBP協議会のまちづくり事業として開始した植花活動、「OBP Blooming Place」を広く普及することを目的として実施しました。OBP内外から123名の方が参加され、OBPでのコンセプトやめざす街のあり方を認知して頂くイベントとなりました。
(1回のイベントでは認知をしてもらうのは不可能なので、切り口を変えてさらに認知して頂く)

【2023年度】

今回、さらに精度を上げてOBPで勤務する方にも認知して頂けるよう、イベントに参加型で「OBP Blooming Place」をPRする仕組みを盛り込みます。
前回、開催した活動した経験をふまえて今回は実際に現地へ足を運んでもうらえるような、カジュアルなイベント仕立てにします。

将来的には、ワーカーの方々と一緒に何らかの形でOBP Blooming Placeイベントを実施することをめざします。

「健康」 × 「環境(緑化)」

OBP Blooming Placeの写真撮影 & ハッシュタグをつけて、PRしてもらう。

緑と共にOBPがあることをPRする活動にする。
オフィス街でありながらも、水と緑が豊か、そして大阪城が隣接するOBPは唯一無二である。
そのことを、事業を通じて実際に歩いてみることで改めて実感して頂く。



OBPが、大阪城を含めて緑豊かで「歩けるまち」であること、
「公園の中のビジネス街」であることを再認識



OBP協議会の活動である「**OBP Blooming Place**」をPR
できるような仕組み



OBPの豊かな公的空間の活用・OBPならではの交流空間の創出

ゲーム感覚で楽しもう【ガーデンウォークラリー&フォトコンテスト】

【概要】

- 所要時間・ウォーキングエリアのバリエーションを変えて**3つのウォーキングコース**を用意
- コース内指定のポイントに設置した**QRコード**から文字を読み取って文字を繋げてお花の名前を解答する(花の名前はOBP Blooming Placeで育てているお花の名前とする)
- OBP Blooming Placeは、**3つのいずれのコースにも必須ポイント**とする
- 参加コースごとにハッシュタグを付けて**Instagram**で投稿してもらい、当選者に景品をプレゼント
- 一定の開催期間を設けて、好きな時に気軽に参加できるような内容とする(通勤時・ランチ途中など)
- ウォークラリーを通して、OBP Blooming Placeと緑あふれる**OBP**を知るきっかけにする
- コースは、**<ガーデン(約10分)>・<OBP内(約30分)>・<大阪城を含めたOBP(約1時間)>**など
- 気軽に健活を始めるきっかけとなるようにする(歩数や所要時間、消費カロリー等を記載する等の工夫)

【企画内容】

- ・ウォークラリー
- ・フォトコンテスト

【参加方法】

- ・Instagram(公開アカウント)でハッシュタグをつけて投稿
- ・当選者には、城まちosakaからDMでご連絡



イベント案 | コース例

ガーデンコース

①



コ

②



ス

③

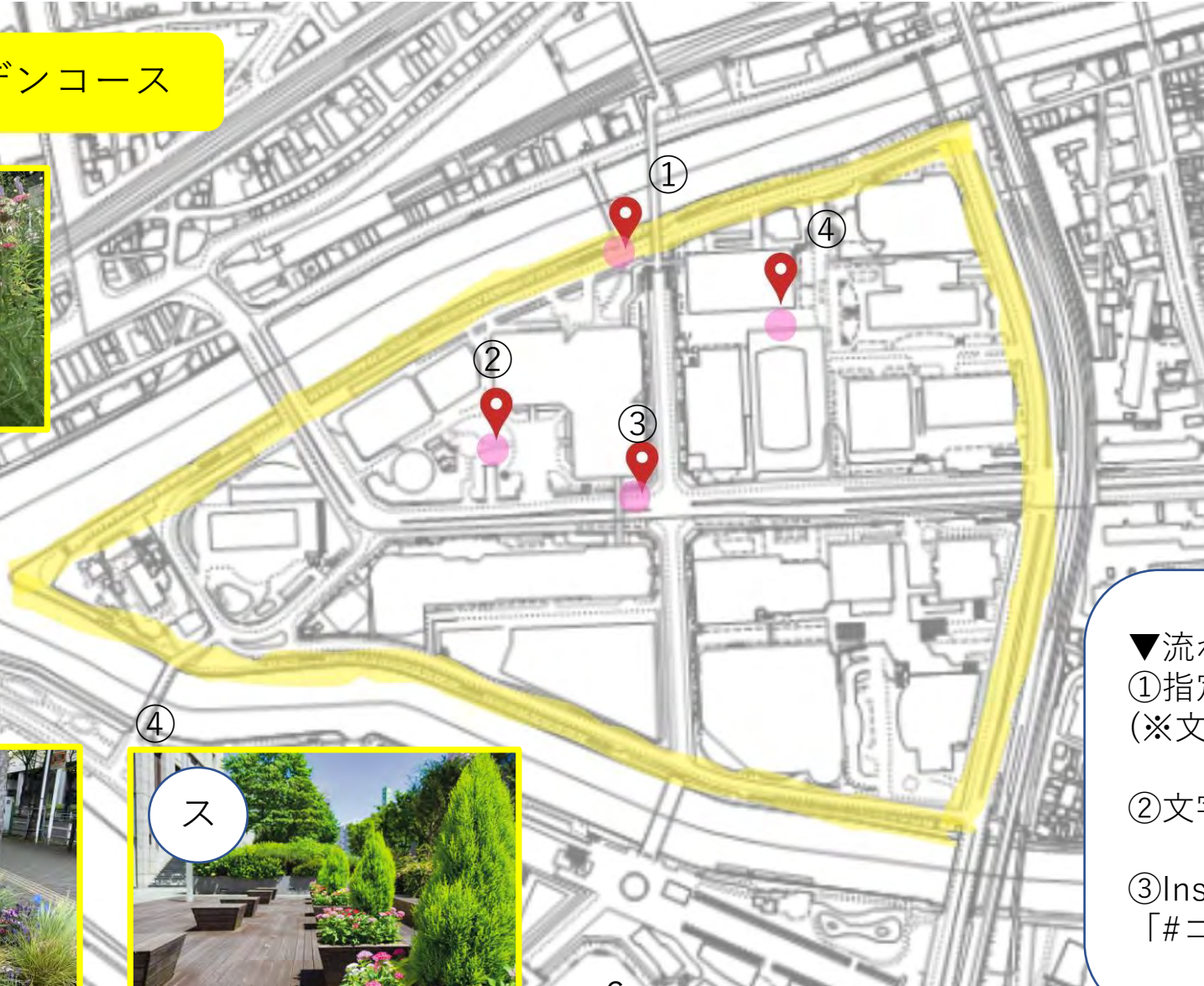


モ

④



ス



●ガーデンコース

所要時間：約10分

歩数：約1,000歩

消費カロリー：33kcal

(こんにゃくゼリー約1個分 / ちくわ1本)



▼流れ

①指定箇所にQRコード等で文字を設置
(※文字の設置方法は変更の可能性有)

②文字を繋げると、お花の名前になる

③Instagramの公開アカウントで
「#コスモスobp(仮)」付けて写真を投稿

【実施時期】

- ・ 10月中旬頃～下旬にかけて
- ・ 実施期間：2週間ほど

【開催までのスケジュール】

- ・ 8月 内容作成
- ・ 9月 関係者事前告知 / 一般告知 / リーフレット作成 / フォト講座開催(p11で説明)
- ・ 10月 最終チェック / 告知

※開催期間中に「一緒に歩くDay」を設ける (?)

【開催後】

- ・ 当選者の選定
- ・ 当選者へ連絡・景品プレゼント@OBPアカデミア
- ・ イベント報告(アンケート集計分析・振り返り など)

- OBP協議会WEBサイト
- OBP協議会SNS(Instagram・Facebook・Twitter)
- OBP地権者を通じて、社員やテナント企業へ周知
- OBPアカデミアSNS
- OBPアカデミア館内掲示

【スマホで美しく撮影する写真講座】

- 内容：
 - ・ スマホ写真の上手な撮り方セミナーを実施し、美しいお花の写真の撮り方やポイントをプロカメラマンから学んで、楽しくガーデンウォークラリーに参加してもらう。
 - ・ セミナーは座学と撮影実技の2部構成とし、撮影実技はOBP Blooming Placeで実施する。
- 参加費：
 - ・ OBPワーカー：SNSへの投稿を条件に参加費は無料（受付で勤務ビル名を自己申告）
 - ・ 一般：500円
- 開催日：検討中 ※2回実施予定（約1時間/回）

OBP Blooming Place の注意看板の設置完了について（報告）

下記のとおり、OBP Blooming Place（寝屋川沿い）に注意看板を設置しましたので、報告します。

1. 設置完了日：2023 年 7 月 23 日（日）
2. 設置個数：2 箇所

下段の上部（歩道レベル）



下段の下部（遊歩道レベル）

